



小規模多機能型居宅介護 和が家です



「通い」「訪問」「泊まり」の3つのサービスを組み合わせ、利用者様一人ひとりの生活に合わせた支援を行っています。

住み慣れた地域やご自宅で安心して暮らし続けられるよう、顔なじみの職員がサポートします。

日々の健康管理やレクリエーションだけでなく、季節を感じられる行事や外出の機会も大切にしています。

先日、通いサービスをご利用の皆様とバラ園へ出かけました。

外の心地よい空気を感じながら職員と一緒に散策し、普段とは違う時間を過ごしていただきました。

利用者様からは「バラなんて久しぶりに見たわ」「本当にきれいだった」「楽しかったな」といった声が聞かれ、たくさんの笑顔を見ることができました。

七夕会



7月2日(木曜日)に、年に一度の七夕会を開催しました。
和気小学校の4年生が参加してくれました。
思い思いの願い事を短冊に込め、笹の葉に飾り付けました。

第28回医療法人紀典会研究発表会



11部署の参加があり、理事長賞に2部署が選ばれました。



エスペランス通信



第385号

発行担当者
吉久 学
広報委員会





入所看護師です



今年も暑い暑い夏がやって来ます

遠い昔の夏休み、毎日の様に学校のプールに出かけ、太陽の下、友達と駆け回り、家に帰れば扇風機の前を占領して「あー」と声を出しながら涼を取っていた事を思い出します。

さて、現在の様子はどうか？最高気温40度近くになる日も多く、今や太陽の下で過ごすことは命に関わる危険な行為といえます。また、室内で過ごしていても、熱中症を発症するリスクがあります。

年齢を重ねると身体の様々な機能が低下し（鈍感になります）自覚症状が無い（気づかない）まま重症化することがあります。そこで、重要なのが「熱中症予防対策です」厚生労働省の「熱中症予防情報サイト」の一部を紹介します。

☑️ 予防法ができているかをチェックしましょう

□ エアコン・扇風機を上手に使用している



□ 部屋の温湿度を測っている



□ 部屋の風通しを良くしている



□ 必要に応じてマスクをはずしている



□ こまめに水分補給をしている



□ シャワーやタオルで体を冷やす



□ 暑い時は無理をしない



□ 涼しい服装をしている
外出時には日傘、帽子



□ 涼しい場所・施設を利用する



□ 緊急時・困った時の連絡先を確認している



この夏を無事に乗りきるために、まずは「バランスの良い食事」「喉が渇く前の水分補給」「十分な睡眠と適度な運動」を心がけましょう。

「いつもと違う」と感じたときは、ご家族やケアマネジャー、身近な方へすぐに相談しましょう。また、症状が改善しない場合は、早めに医療機関の受診をお願いいたします。



リスクマネジメント委員会です



利用者様が安心して生活できる環境作りを目的として、当施設では「リスクマネジメント委員会」を設置し、施設内で発生する事故やトラブルを未然に防ぐ活動を行っています。高齢者施設では、転倒・転落、お薬の間違い（誤薬）、誤嚥、感染症など、さまざまなリスクが存在します。そのため、事故が起きてから対応するのではなく、「事故を起こさないためにどうするか」を事前に考えることが重要です。委員会では、職員から報告された「ヒヤリハット」（事故にはならなかったものの、「ヒヤリ」としたり「ハッ」としたりした出来事）や実際の事故報告をもとに原因を分析し、再発防止策を検討しています。また、施設内の危険箇所の点検や環境整備、安全に関する研修の実施などにも取り組んでいます。ヒヤリハットは事故防止の大切なサインです。「事故にならなかったから大丈夫」ではなく、「大きな事故にならなくて良かった。では、どう改善しようか」という視点が大切です。こうした小さな気づきの積み重ねが、安心・安全な施設づくりにつながります。リスクマネジメント委員会では、これからも皆さまが笑顔で安全に過ごせる環境づくりに取り組んでまいります。

「中村部屋」の親方・力士さんが来訪！



優しく温かいふれあいに、たくさんの元気と笑顔をいただいた特別な1日となりました。

